

雅楽とは

雅楽とは、古来より日本人が培ってきた音楽と、5世紀頃より順次伝えられた、アジア大陸各地で生まれ育てられた楽舞が融合し、平安時代に整えられたものをいいます。当時は、仏教の儀式や宮中の行事などで演奏されたといわれています。その後、時代とともに、編曲や作曲を重ねながら日本独自の音楽に創り上げられ、現在まで脈々と傳承されて来ました。雅楽は、平安時代にもっとも栄えた後、平氏は安芸の厳島神社へ、源氏は鎌倉の鶴岡八幡神社へと広めていきました。元々仏教の音楽ですので、「運慶 鎌倉幕府と三浦一族」と合わせて、その響きを楽しむことができます。

楽器紹介



吹口の付いた頭と呼ばれる丸い台に、17本の竹管を円形に立て銀の帯で束ねてあり、竹管にある小さな孔を押さえ音を出します。吹いても吸っても同じ音が鳴るといふ特徴から、始めから終わりまで音を絶やさず奏します。



竹筒型の楽器で、管の太い側に蘆で作ったリードを差して吹きます。小さな楽器ですが、素朴で力強い音に哀愁を帯びた音色で主旋律を奏めます。



雅楽では、曲の形態により龍笛・神楽笛・高麗笛の3種類の笛を使い分けます。唐楽に使用する笛は、笙の鳳凰に対し龍の笛として「龍笛」と呼ばれます。篳篥の音色に絡まるように奏し、曲に華やかさを加えます。

プロフィール



雅楽道友会

昭和42年、元宮内省楽部楽師 故・藺廣教を中心に有志が集い、民間への雅楽の普及および技術向上を目的とし発足。民間で初めて雅楽を専門職とする集団を作り上げ、数多くの指導者を世に送り出した。現在も正しい古典の傳承に励み、演奏活動、管楽器の製作を始め、会員育成や各地の雅楽団体への技術指導にも積極的に取り組んでいる。

美術館展覧会



横須賀美術館 開館15周年記念
800年遠忌記念特別展
運慶 鎌倉幕府と三浦一族
2022年7/6(水)～9/4(日) ※8/1(月)は休館

- 開館時間** 10:00-18:00
- チケット** 一般 1,000円、高校生・大学生・65歳以上 800円、中学生以下 無料
- 所蔵品展、谷内六郎館も観覧できます。
 - 高校生(市内在住または在学に限る)は無料
 - 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添1名様は無料

横須賀美術館

横須賀市鴨居4丁目1
☎ 046-845-1211

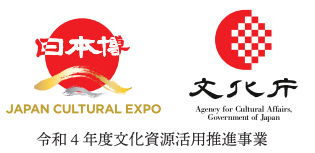
アクセス

電車をご利用の場合

- 京急線「馬堀海岸」駅もしくはJR「横須賀」駅から観音崎行きバスで「観音崎京急ホテル・横須賀美術館前」下車徒歩2分
- 京急線「浦賀」駅から観音崎行きバスで終点「観音崎」下車徒歩5分

お車をご利用の場合

- 横浜横須賀道路馬堀海岸1.Cから約3km
- 駐車場(120台)・最初の1時間320円、以降160円/30分、上限1,600円/日(展覧会ご観覧の方は1時間無料)無休



詳しい情報は「ワクワクよこすか」ウェブサイトまで!

お問い合わせ

横須賀市文化スポーツ観光部企画課
エンターテインメント推進担当 046-822-9820